

【貸与】休止からの復活の異動願（届）

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

卒業期をはじめとする各『日付』の未記入による不備が多く見受けられます。忘れずにご記入ください。

☐ 返還誓約書の機構送付
 ☐ 成績、本人都合や学校処分による「停止中」ではない

※学校記入項目 ◎返還誓約書を送付済の場合は☑。送付していない場合は本願(届)を作成できません。
 ◎成績事由

※給付奨学金の「異動願(届)」は

届出年月日

20 年 月 日

生年月日

西暦 年 月 日

停止中の場合はこの様式では復活できません。ご確認ください。

学校名		番号	
学部・学科 (課程・研究科)		フリガナ	
奨学生番号 ※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入		氏名 (自署)	

①

貸与の奨学生番号のみ

本人自署必須。
代筆不可。

併用貸与で、復活時において(片方のみ復活)片方を辞退する場合は、その旨を必ず連絡事項記入欄にお知らせください。また、給付奨学金がある場合は、給付様式1-6も同時に提出が必要です。

☐ 休止（通常の休学）からの復活

学生本人記入

復活の開始
(大学院のみ選択可能)

学籍上の卒業に合わせる

大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。

以下の3項目すべてを記入してください。
※休学日は当初(直近の振込日以降)の休学日を記入してください。

在学の身分で
あ

休学
あ

卒業期 20 年 月 見込

卒業期が延長しない
終期が削減される
(例) 休止期間
「12か月-6

学校記入

記入漏れによる不備が多いです。
通常休学の場合、
3項目ともに記入必須です。

卒業期の不備が多いため、
再度ご確認をお願いします。

☐ 休止（留学）からの復活

学生本人記入

復活の開始
(大学院のみ選択可能)

学籍上の日付
卒業に合わせる

大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。

復活希望年月※ 20 年 月

※ 未記入の場合

※ 海外留学支援
「留学」又は
の記入は無

学校記入

国費を受給している場合または、
身分が「留学」「在学」で、
復学日以前の復活始期希望の場
合のみ記入可能です。

留学の場合、
3項目ともに
記入必須です。

複数の身分に切り替わる場合に記入。
身分の日付は連続している必要があ
ります。

該当する場合のみ
記入してください。

☐ 休止（長期履修生の貸与先送り）からの復活

※長期履修生のみ選択可

長期履修課程の修業年限 年

復活年月 20 年 月

卒業期 20 年 月

長期履修生のみ
選択可能です。

休止時において振込超過がある場合、超過返戻後に「奨学金返戻振込用紙(振込金受取書)」コピーとともに(ホテキス留め)、「休止の異動願」を機密に提出してください。

連絡事項記入欄

学校情報

① 留学時身分 ☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学

※1 期間 20 年 月 日

※2 期間 ~ 20 年 月 日

② 留学時身分 ☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学

※1 期間 20 年 月 日

※2 期間 ~ 20 年 月 日

国費情報 (ある場合)

☐ 海外留学支援制度(協定派遣)

☐ 官民

20 年 月

※3 期間 ~ 20 年 月

留学奨学金継続願提出 ☐ 有 ☐ 無

※1 留学中に複数の身分が存在する場合の②を記入

「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異

※2 動する期間を記入し、実際に渡航する 期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱ひ、記入不要。

上記記載のとおり相違ないことを証明いた

(学校証明)

学校名

関係
課長

※証明者は課長相当職以上の方と

記入しないでください

に記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報(含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校(無償提供)・大学(貸与)及びその業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。